

計画段階評価について
山陰自動車道（福光^{ふくみつ}～江津^{こうづ}）
第2回 説明資料

平成25年2月5日

国土交通省 中国地方整備局

目次

1. 前回審議内容	．．． 2
2. 第1回意見聴取の結果	．．． 5
3. 対応方針の検討	．．． 16
4. 計画段階評価手続きの進め方	．．． 23
5. 第2回アンケート案	．．． 27

1. 前回審議内容

1-1 第1回中国地方小委員会の審議内容

第1回中国地方小委員会の概要

■実施日

平成24年 9月20日開催

■主な議事

- ①地域や道路交通の状況と課題
- ②政策目標の設定
- ③計画段階評価に係る手続きの進め方

第1回中国地方小委員会での主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
地域格差を実感する地域であり、「住民生活の質の向上」の観点も踏まえた交流条件の確保も求められる。	「住民生活の質の向上」を政策目標の「観光の振興・交流の促進」に反映した。
人口減少や高齢化が進む地域において将来どのような様な社会・経済活動を営んでいくのかといった点も視野に入れ、ネットワークが生み出す波及的効果も考慮しまとめると良い。	道路を整備した時の波及効果(整備効果)において、整理することとした。
地域を跨ぐような足の長い通過交通と、この地域内に発着する地域交通が混在している区間であり、利用層を勘案したバランスの取れた意見聴取を実施すること。	県外のトラック協会(16団体)を通じて、県外の道路利用者へアンケート調査を実施した。

1-2 政策目標の設定（委員会審議を踏まえ修正）

◇ 地域の課題及び沿線自治体の総合計画を踏まえ、当該地域の政策目標を以下に設定

地域や道路の状況や課題

圏域の将来像

地域の将来像

今後の高速道路のあり方
(中間取りまとめ)

1. 災害時にも機能するネットワークの確保
2. 救急医療機関への速達性、確実性の確保
3. 国際競争力の強化、産業の活性化
4. 観光の振興・交流の促進
5. 安全性の向上

◇ 対策案の検討

【代替性の確保】

事故や災害時の迂回による社会経済活動や日常生活への影響を最小限に留め、住民の生活や地域の産業を守る道路整備とは

【医療】

医師不足等により地域医療の崩壊が進行するなか、地域住民の安心確保に向けた高次医療機関への速達性・確実性を向上させる道路整備とは

【国際競争力の強化・産業の活性化】

東アジア、北東アジアに近接した地域特性も踏まえ、日本海側拠点港湾に指定された浜田港へのアクセス強化や地場産業の市場拡大を促す道路整備とは

【観光の振興・交流の促進】

世界遺産である石見銀山を活かし、周辺観光地と一体となった新たな観光周遊行動の促進、「生活の質の向上」の観点も踏まえた交流条件を確保する道路整備とは

【安全性の向上】

全国に先駆けて進行する高齢化及び地域内交通と通過交通が混在している現状を踏まえ、地域住民が安全に生活できる道路整備とは

【東日本大震災からの教訓】 災害時に機能する道路ネットワークとは

当該地域の高規格幹線道路の空白域の整備方針を検討
(既存の道路ストック活用の可能性も含め、複数の対策案を設定し検討)



2. 第1回意見聴取の結果

2-1 意見聴取の概要

- 意見聴取はアンケート調査及びヒアリング調査など、以下の内容を実施した。

	実施項目	実施期間	回答方法	実施概要	回答状況
アンケート調査	地域住民アンケート	平成24年11月19日(月) ～12月7日(金)	郵送回収	全戸配布(13,118世帯) ----- 無作為抽出による配布(10,000世帯) ----- 合計配布数:23,118票	回答数:5,265票(回収率23%)
	事業所アンケート	平成24年11月19日(月) ～12月7日(金)	郵送回収	島根県内の事業所から、業種等を考慮し選定配布(5,513事業所) ----- 広域的な利用特性を考慮し、島根県外のトラック協会に配布(16団体)170部配布 ----- 合計配布数:5,683票	回答数:1,555票(回収率27%)
	道路利用者アンケート	平成24年11月19日(月) ～12月7日(金)	郵送回収 又は投函箱による回収	道の駅および主要観光地、自治体に調査票を常設(36箇所・5,000票)	回答数:428票(回収率9%)
	Webアンケート	平成24年11月19日(月) ～12月7日(金)	Web上でメール送信	浜田河川国道事務所のHPにWebアンケート掲載	回答数:205票
ヒアリング調査	地域代表者ヒアリング	平成24年12月初旬～中旬	ヒアリングによる意見徴収	関係団体および沿線自治体等にヒアリング実施 ①沿線自治体関係 島根県、大田市、江津市、浜田市、益田市 ②商工会議所関係 大田、銀の道、江津、桜江町、浜田 ③消防関係 大田市消防本部、江津邑智消防組合、浜田市消防本部 ④JA・JF関係 いわみ中央、石見銀山、JFしまね仁摩、JFしまね浜田 ⑤その他 島根県トラック協会、浜田港振興会	

2-2 アンケートの広報の状況

- 新聞広報やアンケートの直接配布、CATV放送により、アンケートの広報を実施した。

●新聞広報

新聞広告を使い、アンケート調査の周知を行った。

山陰自動車道(福光~江津)における道路計画に関する第1回アンケート調査

山陰自動車道は、鳥取県鳥取市~山口県美祿市までの延長約380kmの高規格幹線道路です。山陰自動車道(福光~江津間)の計画決定にあたり、地域の皆さまや道路を利用される方からご意見を聞かせたいです。道路計画に反映するためのアンケートを行います。ご協力をお願いします。

アンケート調査は2回を予定しており、第1回アンケート(本調査)では、皆さまがご感じられている道路交通での課題や課題を解消するための今後の方向性等について、ご意見をお聞かせします。

アンケートの内容
第1回/道路の計画、地域の道路に求められる機能・役割、道路整備の必要性
第2回/地域道路を解消するためのアンケートを行います。ご協力をお願いします。

アンケートの方法

アンケート対象者	実施方法
一般市民	●電話にて直接配布により実施 ●配布場所：国土交通省 中国地方整備局 浜田河川国道事務所 調査設計課
自治体関係に在住する方	●郵送にて直接配布により実施 ●配布先：国土交通省 中国地方整備局 浜田河川国道事務所 調査設計課
自治体の関係に在住する方	●郵送にて直接配布により実施 ●配布先：国土交通省 中国地方整備局 浜田河川国道事務所 調査設計課
自治体関係の事業者	●郵送にて直接配布により実施 ●配布先：国土交通省 中国地方整備局 浜田河川国道事務所 調査設計課
道路利用者の皆さま	●郵送にて直接配布により実施 ●配布先：国土交通省 中国地方整備局 浜田河川国道事務所 調査設計課

第1回アンケート 調査期間 平成24年11月19日(月)~12月7日(金)

“みなさまのご意見お待ちしております。”

インターネットによる回答 **アンケートのお問い合わせ先**

国土交通省 中国地方整備局 浜田河川国道事務所 調査設計課
〒685-0855 浜田市 0855-22-3129
<http://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/sanindo/research/>

【実施主体】 国土交通省 中国地方整備局 浜田河川国道事務所 鳥取県 浜田市 江津市 大田市

山陰中央新報(全県版) 平成24年11月18日(日)掲載

●地域団体へのPR活動

アンケート調査への協力を依頼した。

団体：ゆうひライン女性の会

日時：平成24年11月17日(土)13:30~

実施：国土交通省・島根県・浜田市・益田市



●アンケートの直接配布

アンケートを来訪者に直接配布、回答をもらった。

場所：道の駅サンピコごうつ

日時：平成24年11月23日(金)10:00~

実施：国土交通省・島根県・江津市



●CATV放送

ぎんざんテレビにてアンケート調査のPRを行った。

放送日：平成24年11月27日(火)~6日(木)

**山陰自動車道 福光江津間
道路計画にご意見募集中**

調査期間 11月19日(月)~12月7日(金)
道の駅、市役所等にアンケート用紙設置

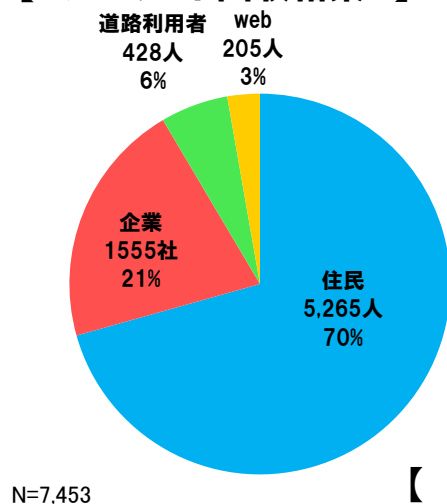
WEBでも回答できます
www.cgr.mlit.go.jp/hamada/sanindo/research/

お問い合わせ 国土交通省 浜田河川国道事務所
0855-22-3129

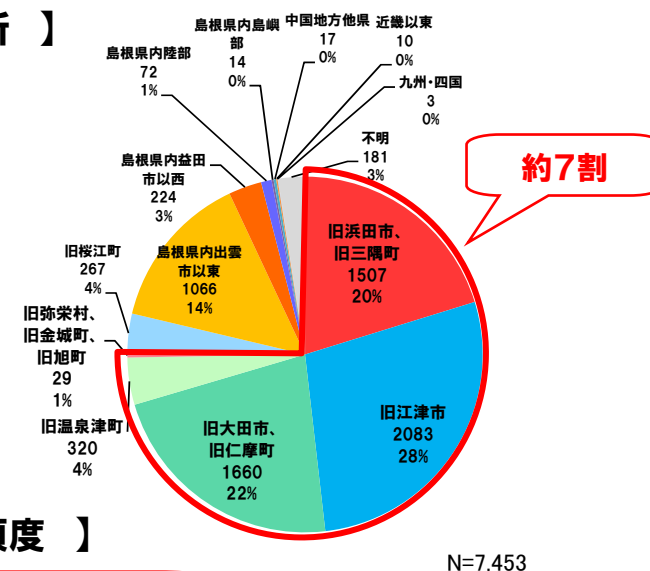
2-3 意見聴取（アンケート）の結果①

- 住民約5,300人、企業約1,600社、道路利用者約430人、web約210人から意見収集を行った。
- 回答者の約7割が国道9号沿線地域に居住(企業は所在地)。
- 回答者の約6割の人が、当該区間(福光～江津間)を“月2～3回以上利用”と回答。
- “毎日利用”する多頻度利用者(毎日利用)は、全体の約1割。

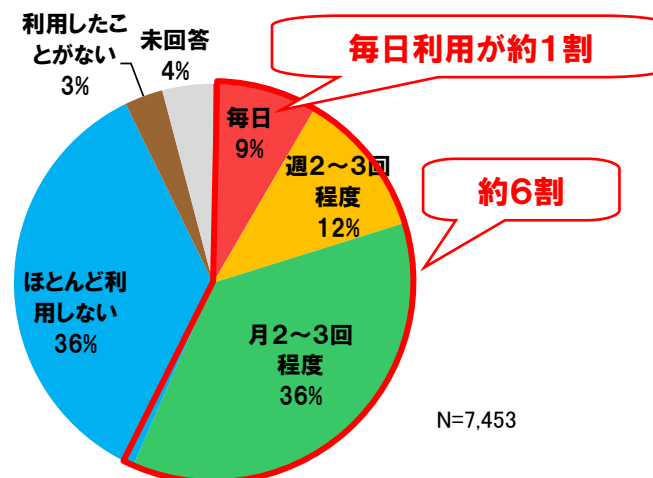
【 アンケート回収結果 】



【 回答者住所 】



【 現在の国道9号(福光～江津間)の利用頻度 】

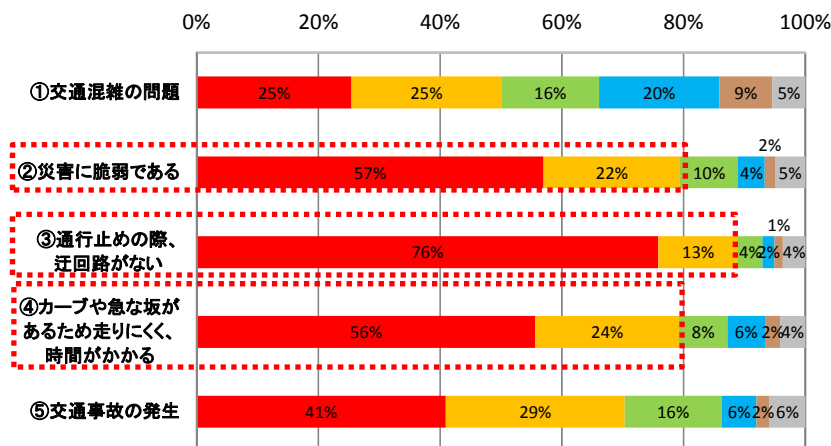


2-3 意見聴取（アンケート）の結果②

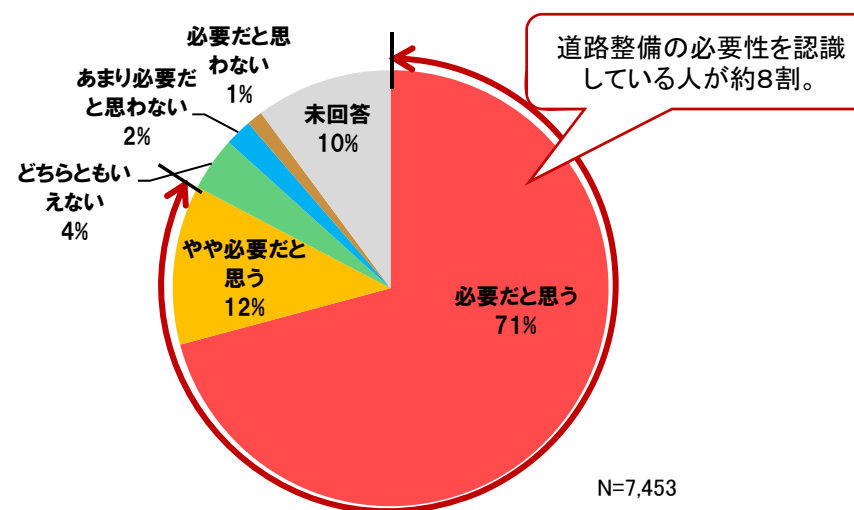
(1) 国道9号(福光～江津間)に関する現在の問題点や解消すべき課題について

- 回答者の8割以上の方が、②災害、③通行止め時の迂回路、④走行性に課題を感じている。
- 課題の解消方法として、回答者の約8割が“道路整備の必要性”を認識。

Q1: 福光IC(仮称)～江津IC間の国道9号には、どのような交通課題があると思いますか？



Q2: Q1で挙げられた課題を解消するうえで、道路整備の必要性についての考え。



N=7,453

<交通課題についての自由記述>

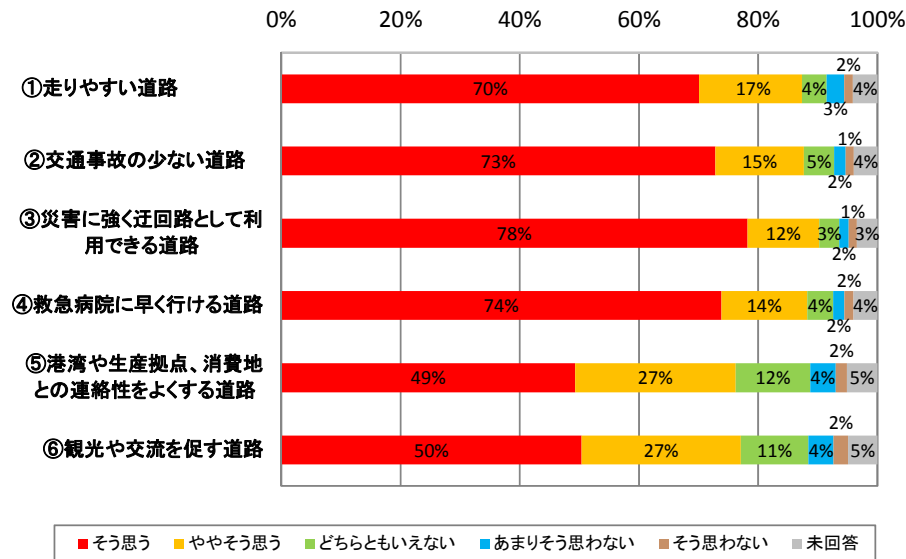
項目	自由意見
交通混雑	・日中であればあまり混雑を感じないが、出勤時間は混雑する。
災害に脆弱	・この地域の国道9号では、大地震の時の津波対策がなにもなされていないので不安がある。 ・東日本の震災の様な大災害が発生した場合、沿岸部・山間部共に道が狭く寸断された時には孤立無援の地域が出る。
迂回路	・とにかく災害時等に大型車等の迂回路が無い事は物流部門の大問題です。 ・事故発生時にトレーラーなどの大型車両が迂回する場合、通行がとても困難な所が多い。
線形不良	・浅利トンネル付近は急な坂やカーブがあって危険に感じる。
交通事故	・道幅が狭くカーブが多いので事故が起きやすい。
その他	・出雲には大きな病院があるので、通院に使いたいが、時間がかかりすぎる。 ・島根県西部を縦断する道路が国道9号しかないため、松江・出雲・浜田・益田・津和野をセットとする観光コースが組めない。 ・地域住民の安心と安全を守る幹線道路が一本しかないことが一番の問題であり、最大の地域格差である。 ・課題解消と山陰道整備は別物と思うため、あまり必要だと思わない。

2-3 意見聴取（アンケート）の結果③

(2)地域の道路に求められる機能・役割について

- 回答者の約8割の人が、すべての機能について重要性を感じている。
- 特に①～④の機能を有する道路が重要と感じている。

Q3:あなたの住む地域には、どのような機能を持つ道路が重要だと思いますか？



N=7,453

<道路に求める機能に関する自由記述>

項目	自由意見
① 走りやすさ	<ul style="list-style-type: none"> ・走りやすい道路を早く作ってほしい。 ・高齢者ドライバーが増えると思うので安全に走りやすい道路が必要です。
② 交通事故	<ul style="list-style-type: none"> ・国道9号は通過するだけの車も走っているので交通安全のためにも分散させる方法を考えてほしい。 ・事故率の高い箇所や事故の多い箇所は早急に対策を。
③ 迂回路確保	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に輸送道路などとして使うことが出来る道路網が求められる。 ・迂回路がないのは生命にも係わる。
④ 救急医療	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎が進む中で、交通網を整備し、病院などへの行きやすくする事が必要。 ・遠距離でも救急病院に早く行ける道路が必要。
⑤ 港湾・生産拠点・消費地との連絡性	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的発展のためにも企業が来やすい地域にする。 ・地域間格差をなくして、少しでも多くの企業を呼び込む為には道路整備は最重要である。日本海側の発展はこの国の重要課題。 ・アクセスを良くしないと物流も悪くなり、企業も参入せず、発展が望めない。
⑥ 観光・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・松江に行く時間より広島に行く時間のほうが少ない。 ・利便性、安全面を強化するのはもちろんであるが、石見の自然の美しさがPRできる道路であってほしい。 ・公共交通が発達していない山陰地方において、道路整備は観光面や製造業等全てにおいて絶対に必要である。 ・山陰自動車道ができる事で、中国地方のつながりが密になり、経済・観光の充実が期待できる。 ・島根県の東部と西部を繋ぐ地域のネットワークが形成される。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・東部に行くのに福光ー江津だけ一般道では意味がない。 ・利便性だけでなく、安全な通行や生活者の命を守るためにも、山陰自動車道は全部繋がって欲しい。 ・人口減少に歯止めかからない地域に迂回路以外の整備は必要ない。 ・自然環境、景観、農地、居住性を損ない住宅移転まで伴う道路整備は必要ない。

2-3 意見聴取（アンケート）の結果④

(3)回答結果の考察-1

● 属性別に道路の課題に関する回答を集計した結果、回答としては概ね同じ傾向の意見であった。

■属性別に見た回答の傾向(賛同意見の割合)

1. 道路の課題

属性毎に集計を行った結果、住民と企業で回答の傾向の変化は見られなかった。

◇住民と企業別

住民と企業ともに、③迂回路がない、②災害に脆弱、④走行性に関する賛同意見が8割を占める。

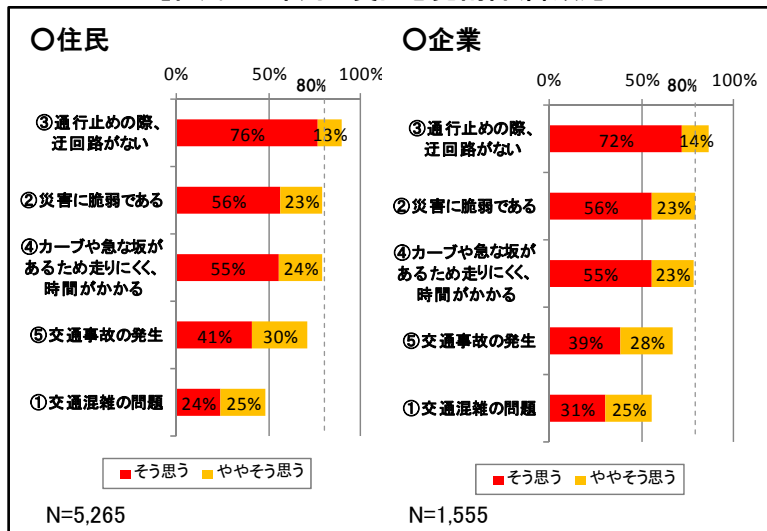
◇国道の利用頻度別

住民において、国道の利用頻度別にみても、全体的に課題認識が高い。

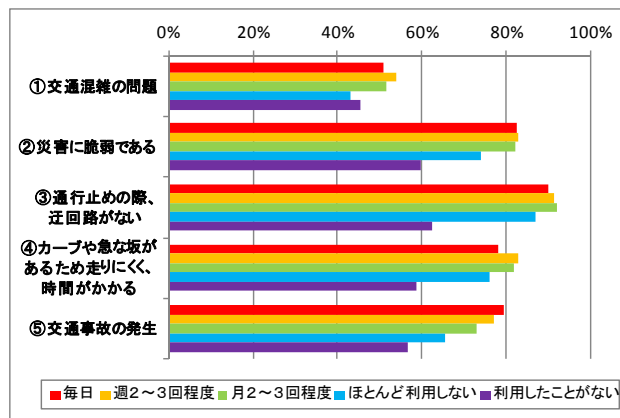
◇交通特性別(長距離交通と短距離交通)

企業において、移動距離が短い地域内交通は、交通事故の発生に対する課題の意見が多い傾向にある。

【住民と企業別の賛同意見割合(降順)】



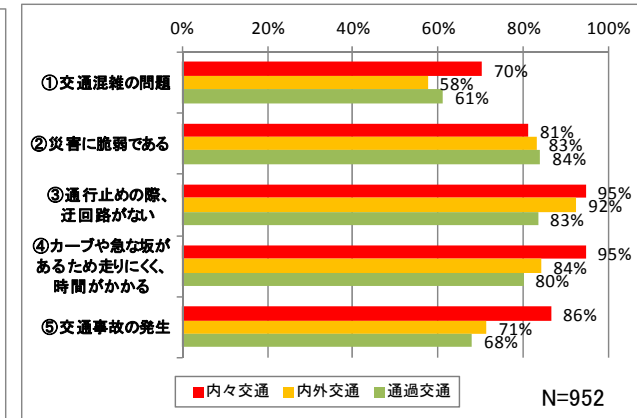
【利用頻度別の賛同意見割合】



※「そう思う」・「ややそう思う」の合計割合

N=5,067

【交通特性別の賛同意見割合】



※「そう思う」・「ややそう思う」の合計割合

N=952

2-3 意見聴取（アンケート）の結果⑤

(4)回答結果の考察-2

- 住民と企業、利用頻度別に求める機能・役割に関する回答を集計した結果、共通して「災害に強く迂回機能」の声が多い。
- 「救急病院に早く行ける道路」、「交通事故の少ない道路」、「走りやすい道路」が意見の大半を占めている。

■属性別に見た回答の傾向(賛同意見の割合)

2. 求める機能・役割

◇住民と企業別

住民:③災害に強く迂回機能、④救急病院への速達性、②交通事故の少ない道路、①走りやすい道路

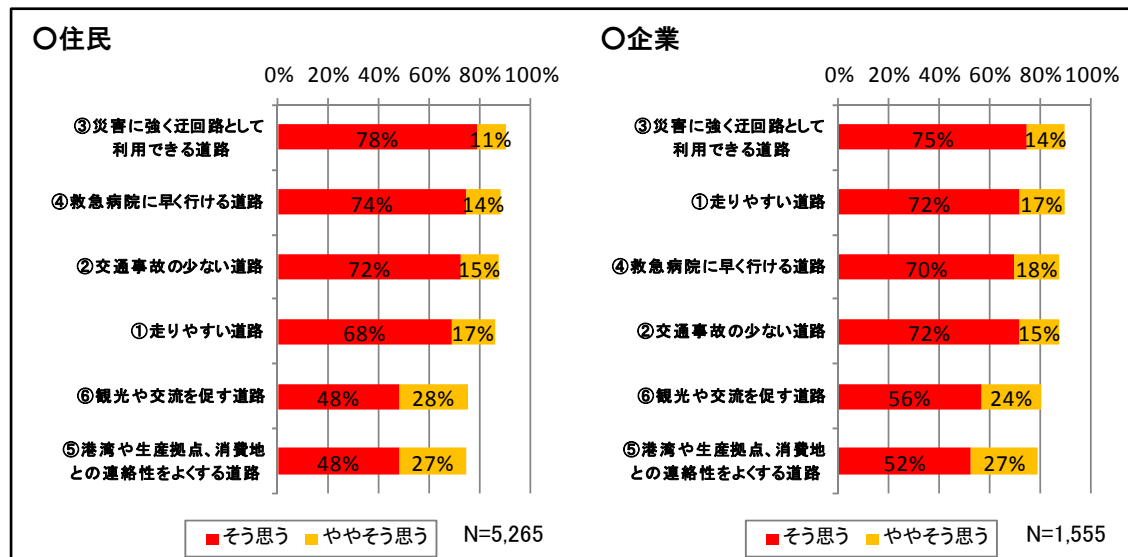
企業:③災害に強く迂回機能、①走りやすい道路、④救急病院への速達性、②交通事故の少ない道路

の意見が9割を占めている。

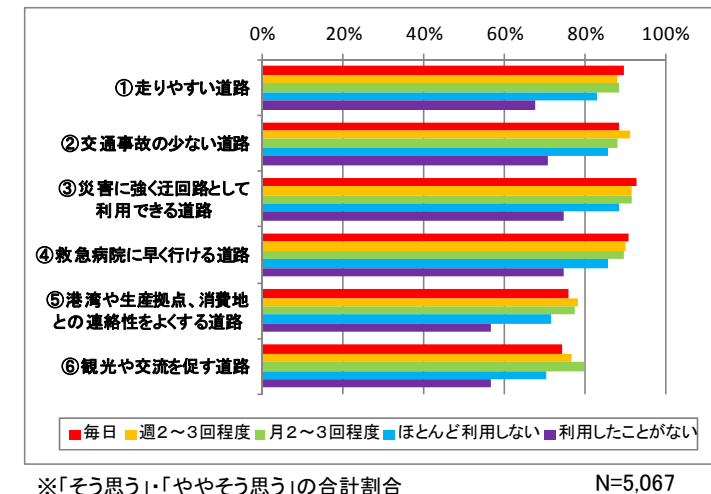
◇国道の利用頻度別

住民において、国道の利用頻度別にみても、全体的に上記4機能(①～④)に対する賛同意見が多い。

【住民と企業別の賛同意見割合(降順)】



【利用頻度別賛同意見割合】



※「そう思う」・「ややそう思う」の合計割合

N=5,067

2-4 意見聴取（ヒアリング）の結果①

(1) 国道9号(福光～江津間)に関する現在の問題点や解消すべき課題について

- “迂回路”“救急医療”“観光”“物流”等の面から、問題点を訴える声が多く寄せられた。

項目	意見
迂回路	<ul style="list-style-type: none"> ・山間部の道路を迂回路として利用することがあるが、幅員が狭く迂回路としては問題がある。(大田市消防本部) ・国道9号の通行に支障がある場合は、内陸部の県道等を迂回し搬送時間に問題が発生する。(江津邑智消防組合)
救急医療	<ul style="list-style-type: none"> ・ドクターヘリは夜間や悪天候時には飛行できないため、救急車両を利用した搬送手段の確保が不可欠。(浜田市消防本部) ・当該地域では、高次医療のケースでは東部の病院に依存しているが、アクセス道路が不十分。(桜江町商工会) ・当該区間の道路は幅員が狭く追い越しが難しい等、走行性に問題がある。(大田市消防本部) ・国道9号の道路構造の問題により、緊急車両の走行性に支障がある。(江津邑智消防組合) ・患者への負担を軽減するためにも、国道9号を走行する際は速度を落として走行するケースも発生する。(江津邑智消防組合)
交通事故	<ul style="list-style-type: none"> ・国道9号は大型車のスピードが速く安全性の面で問題がある。(江津商工会議所)
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産である石見銀山やアクアス等をセットで考えたいが、交通の便が悪いため周遊観光が難しい。(江津市) ・江津市においてのイベントにおいて、移動時間がかかるとの指摘を受けている。(江津市) ・石見銀山やアクアス等では広島や岡山からの来訪者が多く、山口からは少ない。(江津商工会議所)
物流	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地域は、ロシア、中国等のアジアへの輸送時間では有利な条件にあるが、国道9号のトンネルは構造的に無理がある。(大田商工会議所) ・トレーラー運搬における車両の大型化に対し、現在の国道9号では構造的(幅員、線形等)に問題がある。(浜田港振興会) ・浜田港に背高コンテナが陸揚げされても、国道9号のトンネル等が狭いため松江方面に輸送できない状況にある。(島根県トラック協会) ・石見地域から松江、出雲方面に対し時間短縮が図られ物流面での効果が期待される。(JAいわみ中央)
地域間連携	<ul style="list-style-type: none"> ・島根県東部に対し、西部地域は高速道路整備が遅れていることもあり、地域間連携が遅れている。(江津市) ・学生の研修や部活動の際に、国道9号では走行性が悪いため練習試合などが気軽に組めない。(大田市)
移動時間の短縮	<ul style="list-style-type: none"> ・移動時間がある程度想定できることが重要。(浜田市) ・業務の効率化(会議等の移動時間の短縮)にも期待できる。(JA石見銀山)

2-4 意見聴取（ヒアリング）の結果②

(2)地域の道路に求められる機能・役割について

- “産業や観光の振興”“災害時の迂回路確保”“ミッシングリンクの解消”等の面から、地域の道路に求められる機能・役割についての声が多く寄せられた。

項目	意見
産業の振興・活力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・山陰自動車道の未整備等が原因で企業進出が進まない現状もある。産業の振興のための道路が必要。(江津市) ・貿易港として浜田港が拠点となる必要があり、アジア貿易等を促進していく上では、道路整備による拠点性の確保が不可欠。(大田市商工会議所) ・企業誘致のためにも江津工業団地と接続をして物流ネットワークの形成をしてほしい。(島根県) ・地域の自立的発展や活力ある地域づくりのためには、道路整備は不可欠。(江津商工会議所) ・高速道路整備により、より広域的にかつ効率的に原料が入手出来るようになるため、水産業の活性化が期待できる。(浜田商工会議所) ・搬送時間の短縮は競りの時間に余裕がでることから操業時間の拡大が期待できる。(JFLまね浜田支所)
災害時の迂回路確保	<ul style="list-style-type: none"> ・山陰道には避難路としての役割と、国道9号の迂回路としての役割を期待している。(益田市) ・高速道路は災害時の迂回路として必要。(大田商工会議所) ・水害に強い道を期待する(内陸・高架により)。(益田市)
ミッシングリンクの解消 (ネットワークの連続性)	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路は、繋がって初めてその機能を果たすことが可能となることから、供用されない区間が存在するのは問題がある。(銀の道商工会) ・道路は「繋がる」ことが不可欠であり、また国道9号だけでは緊急時等において不十分である。(江津商工会議所) ・部分供用は走行上問題があり、高速道路は連続した整備が望ましい。(島根県トラック協会)
日常生活の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活関連の買物、病院への通院等に関しては当該区間の住民は江津内の施設を利用しているため道路が必要である。(江津商工会議所)
観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・観光面において、出雲、大田、江津等地域間の連携が必要。アクセス時間の短縮により利便性を確保することが必要。(大田商工会議所) ・島根県及び大田市は観光立県(市)宣言しており、重要な視点である。(大田商工会議所)
地域間の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・温泉津町は合併前から江津市との結びつきが強い地域であり、道路整備による地域間の連携強化が必要。(大田商工会議所)
消費地との連絡性 (安定した輸送体制)	<ul style="list-style-type: none"> ・国道9号が通行止め等になると、魚の運搬に支障が出る。道路整備による安定的な輸送体制が重要となる。(JFLまね仁摩支所) ・九州方面への輸送の際に、道路の輸送時間は、かなり厳しい制約下での移動となり、時間短縮の必要性は高い。(JFLまね仁摩支所) ・漁港の統合を予定。統合により輸送体系の確保が不可欠である。(JFLまね仁摩支所)
アクセス機能	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の搬送等を効率的に実施するには、高速道路へのアクセス(IC)は山間部よりも市街地等に近接した方が利用しやすい。(江津邑智消防組合)

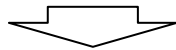
2-5 意見聴取（アンケート・ヒアリング）まとめ

・アンケート結果から当該区間の道路整備の必要性を確認。

◇アンケートにおける道路整備の必要性に対する回答結果

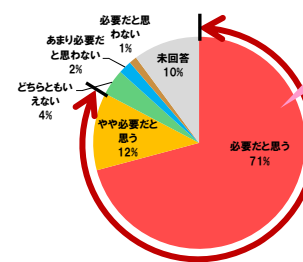
道路整備の必要性に対する賛同意見数

”必要だと思う”、”やや必要だと思う”が全体の83%



住民や道路利用者の多くが、道路整備の必要性を認識

■アンケート結果(道路整備の必要性)



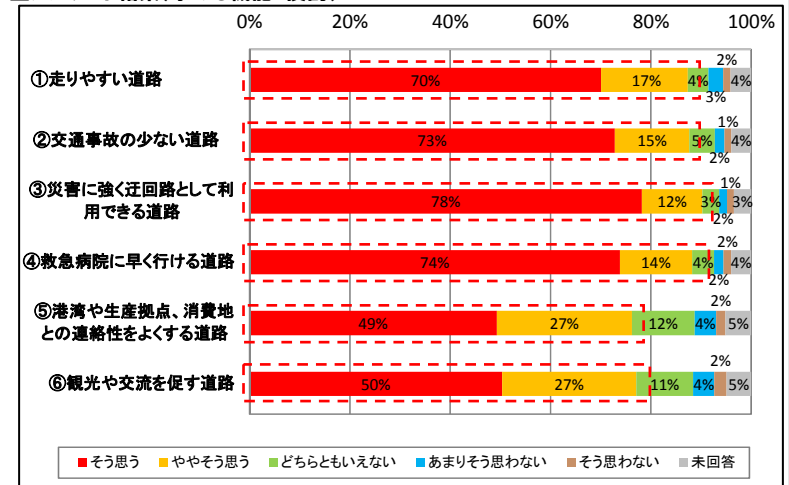
約8割の方が
必要性を感じている

◇地域が道路に求める機能・役割

- ①走りやすい道路（87%）…【政策目標】共通
⇒適正な幅員・線形、高規格化
- ②交通事故の少ない道路（88%）…【政策目標】安全性の向上
⇒交通特性(利用目的)を踏まえた通行車両の分離
- ③災害に強く迂回路として利用できる道路（90%）…【政策目標】代替性の確保
⇒代替性の確保、土砂災害危険箇所の対策・回避、ネットワークの確保
- ④救急病院に早く行ける道路（88%）…【政策目標】医療
⇒速達性（道路延長、走行速度）、確実性
- ⑤港湾や生産拠点、消費地との連絡性をよくする道路（76%）
…【政策目標】国際競争力の強化・産業の活性化
⇒アクセス性（接続箇所）、ネットワークの確保
- ⑥観光や交流を促す道路（77%）…【政策目標】観光の振興・交流の促進
⇒速達性（道路延長、走行速度）、定時制

※（ ）内の数値は各項目の賛同意見の割合

■アンケート結果(求める機能・役割)



◇まとめ

- ・道路整備に対する期待が大きい
- ・災害時における迂回路、速達性や安全性の機能を求める意見
- ・地域の声は、当該地域の政策目標と概ね一致



《必要とされる道路整備》

政策目標を満足するための機能を有する道路整備

3. 対応方針の検討

3-1 対応方針の検討

- ・政策目標を達成するための機能、役割を有する計画案
- ・ルート帯選定にあたって考慮すべきポイントを踏まえ、複数のルート帯案を選定

地域・道路の課題

I 政策目標

災害時にも機能するネットワークの確保

救急医療機関への速達性、確実性の確保

国際競争力の強化、産業の活性化

観光の振興・交流の促進

安全性の向上

政策目標を達成する計画案

II 想定される計画案

① 現道活用

② 別線整備(バイパス)

どこへ、どのように計画すべきか

III ルート帯選定にあたって考慮すべきポイント

災害に強い
・信頼性

市街地・集落
・主要施設とのアクセス

生活環境
・自然環境の保全と調和

経済性への配慮

政策目標の実現性やコントロールポイント等を考慮し選定

ルート帯
複数案抽出

概ねの
ルート帯案
抽出

3-2 ルート帯選定にあたって考慮すべきポイント

・計画案は、以下のポイントを考慮し検討する。

◇ルート帯選定にあたって考慮すべきポイント

- 位置の検討にあたっては、地形・地質条件、生活環境、自然環境、アクセス性、経済性などを考慮し検討する。
- 連絡箇所（インターチェンジ等）は、市街地や集落、主要施設などとのアクセスを考慮し検討する。

災害に強い・信頼性

・土砂災害危険区域を有し、過去にも災害を受けている地域であることから、災害に強いルートとするため、土砂災害危険区域を回避。

市街地・集落・主要施設とのアクセス

・市街地や集落、工業団地等の主要施設、幹線道路とのアクセス性を考慮したルートとするため、インターの配置等に考慮する。

生活環境・自然環境の保全と調和

・生活環境における重要な公共施設（学校、公園、工業団地等）を回避。
・沿線住民の生活環境保全のため、集落や市街地エリアを分断しないよう配慮。
・自然環境保全のため、猛禽類の営巣中心域の回避（やむを得ない場合は低減）

経済性への配慮

・コントロールポイントへの配慮から構造検討が必要な箇所を除き経済性に優れている土工（盛土・切土）を基本とする。

複数のルート帯を検討

3-3 ルート帯選定時に考慮すべき周辺状況

- 山陰自動車道として、国道9号福光～江津の前後区間が供用または事業中。
- 当該区間では、線形が悪い区間が連続して存在。
- 急傾斜地崩壊危険箇所等の土砂災害危険箇所も多数分布。過去の豪雨災害で甚大な被害が発生。



線形が悪い箇所
(国道9号)



幅員が狭い箇所
(川平停車場線)



事故発生状況
(国道9号 江津市後地町地内)

【国道9号福光～江津間の周辺状況】



3-4 ルート帯選定にあたってのコントロールポイント

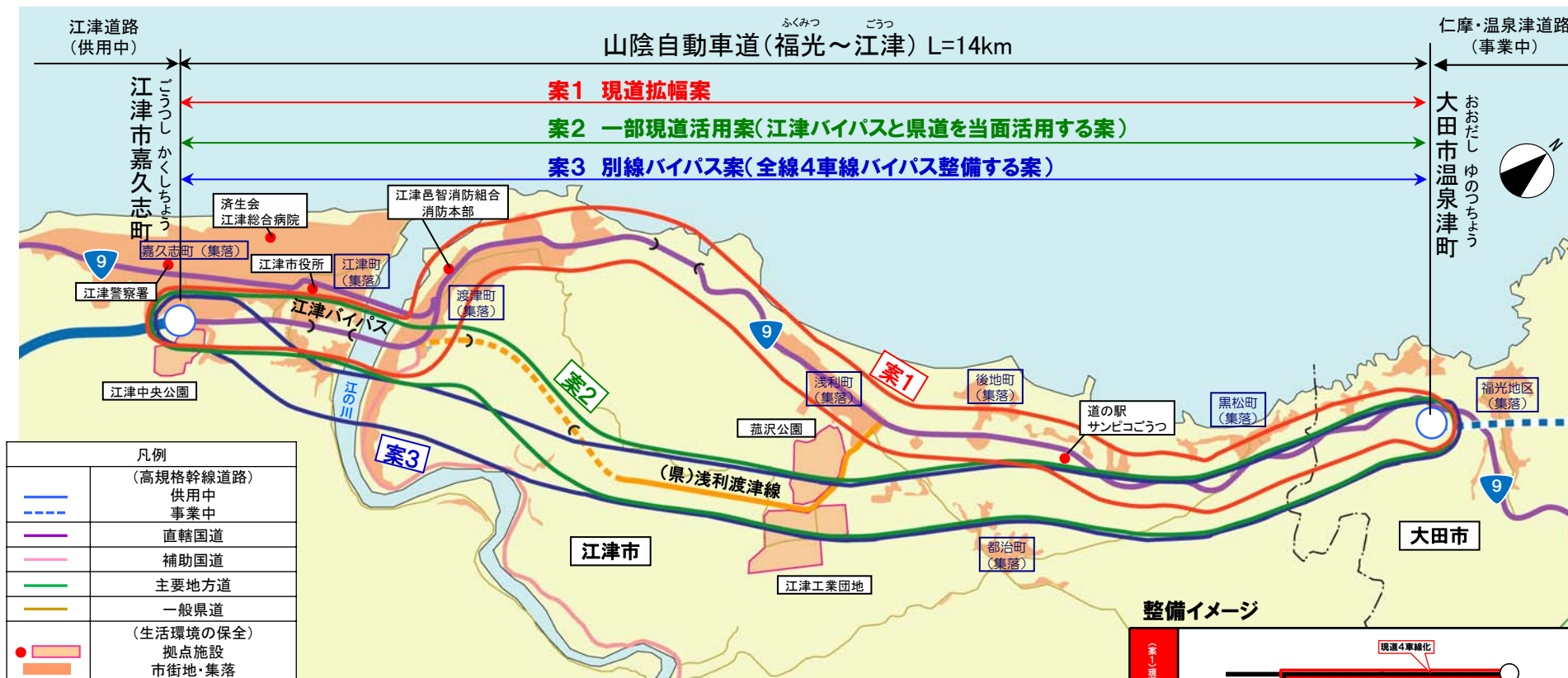
- ルート帯は、以下に示すような拠点施設や市街地・集落を考慮して検討する。



①ルート回避する地域、施設	・拠点施設、市街地・集落
②路線とのアクセス性を確保する施設等	<ul style="list-style-type: none"> ・現国道9号 ・病院・集落【済生会江津総合病院(第二次救急医療機関)、福光地区集落、黒松町集落、都治町集落、後地町集落、浅利町集落、渡津町集落、江津町集落、嘉久志町集落】 ・工場・工業団地【江津工業団地】 ・地震時避難施設【道の駅、江津中央公園】 ・その他【菰沢公園、江津邑智消防組合消防本部、江津市役所、江津警察署】

3-5 計画の基本的方向（ルート帯案の概要①）

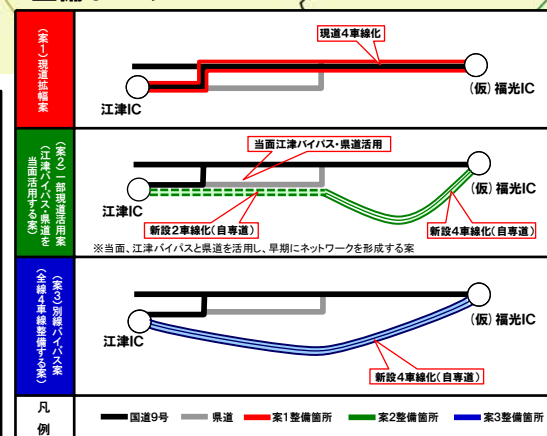
● ルート帯は、現国道9号と活用するルート帯と、全線にわたり高規格幹線道路を整備する2ルート帯を設定。



【ルート帯概要】

- ① **案1ルート帯**： 現国道9号を拡幅し、活用する案。
- ② **案2ルート帯**： 計画区間に並行する江津バイパスと県道を当面活用することにより、早期ネットワークを形成する案。
江津バイパスの用地を活用する案。
- ③ **案3ルート帯**： 全線4車線バイパス整備する案。

整備イメージ



※本図はイメージであり、具体的な位置関係を示すものではない。

3-5 計画の基本的方向（ルート帯案の概要②）

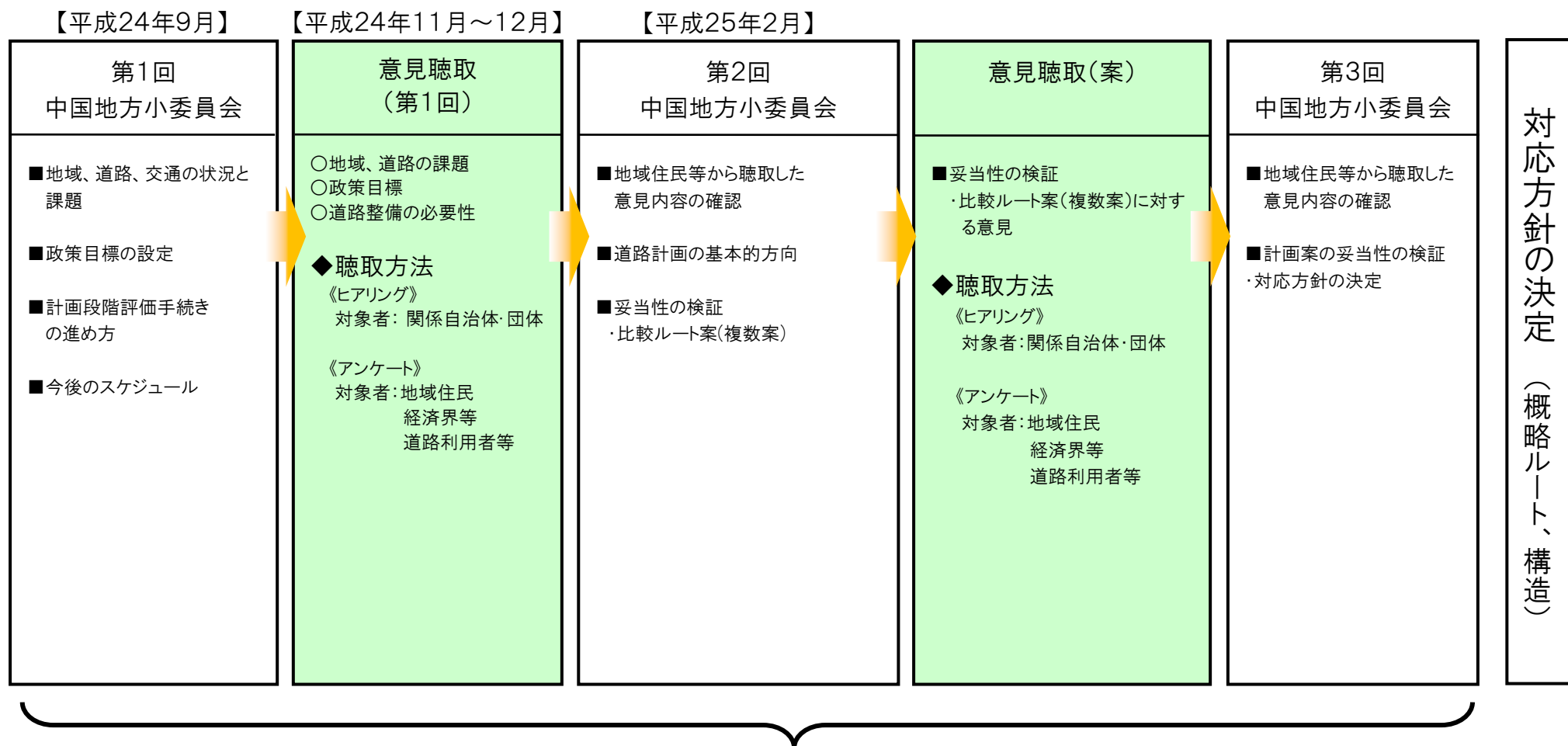
評価の項目		(案1) 現道拡幅案	(案2) 一部現道活用案 (江津バイパス・県道を当面活用する案)	(案3) 別線バイパス案 (全線4車線バイパス整備する案)
ルートの主旨		・現国道9号を拡幅し、活用する案	・計画区間に並行する江津バイパスと県道を当面活用することにより、早期にネットワークを形成する案 ・江津バイパスの用地を活用する案	・全線4車線バイパス整備する案
		60km/hで走行できる一般道	80km/hで走行できる自動車専用道路	
政策目標 に対する 評価	災害時にも機能する ネットワーク (迂回路の確保)	現道拡幅区間で通行止めが発生した場合、大きな迂回が必要となる	災害や事故により国道9号が通行止めとなった場合、代替路として機能する	
	救急医療機関への速達性、 確実性の確保	第3次医療機関への搬送時間：約4分短縮 (江津市嘉久志町から島根県立中央病院への搬送)	第3次医療機関への搬送時間：約9分短縮 (江津市嘉久志町から島根県立中央病院への搬送)	
	国際競争力の強化、 産業の活性化	浜田港へのアクセス時間：約5分短縮 ※福光IC以东～浜田港	浜田港へのアクセス時間：約10分短縮 ※福光IC以东～浜田港	
	観光の振興・交流の促進	観光地へのアクセス時間（観光の振興）：約5分短縮 ※江津IC～石見銀山	観光地へのアクセス時間（観光の振興）：約10分短縮 ※江津IC～石見銀山	
		都市圏へのアクセス時間（交流の促進）：約5分短縮 ※江津IC～松江都市圏	都市圏へのアクセス時間（交流の促進）：約10分短縮 ※江津IC～松江都市圏	
安全性の向上	交通事故件数：2件/年の削減	交通事故件数：2.3件/年の削減		
アクセス性（利便性）		・現国道9号へのアクセス性は良い ・江津工業団地へのアクセス性は悪い ・菟沢公園等へのアクセス性は悪い	・現国道9号へのアクセス性は悪い ・江津工業団地へのアクセス性は良い ・菟沢公園等へのアクセス性は良い	
自然・生活環境への配慮		・現国道9号を改良するため自然の改変は少ないが、生活環境への影響が大きい ・土砂災害危険箇所があり、対策が必要となる ・移転家屋が最も多い	・別線整備であるため生活環境への影響は少なく、道路用地活用により、地形改変による自然への影響が少ない。 ・移転家屋が案3と比較して多い	・別線整備であるため生活環境への影響は少ないが、地形改変による自然への影響は大きい ・移転家屋が最も少ない
区間距離		約15km	約14km	約14km
事業費		約400～450億円	約500～550億円	約800～850億円

4. 計画段階評価手続きの進め方

4. 計画段階評価手続きの進め方①

1. 計画段階評価手続きの進め方、スケジュール(案)

地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、道路計画[概略の計画案(複数案)]について検討を行う。



地方小委員会

※各段階で随時自治体と調整

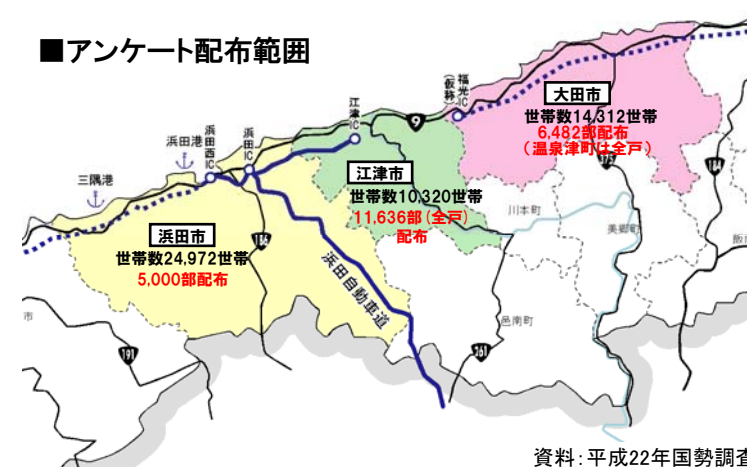
4. 計画段階評価手続きの進め方②

2. 意見聴取(アンケート・ヒアリング)

比較ルート案(複数案)に対する意見を伺う。

意見聴取の項目	把握する意見
各ルート帯案の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ルート選定におけるコントロールポイント ・インターチェンジの配置における留意点
その他留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・その他の道路計画を検討する際の留意点

■ アンケート配布範囲



資料：平成22年国勢調査

3. 意見聴取の方法と対象者

対象者・実施方法		
ヒアリング	【関係自治体及び団体】 島根県・関係市・団体へ意見照会	19団体
	自治体：島根県、大田市、江津市、浜田市、益田市	計 5団体
	各団体：トラック協会（島根県）、商工会議所・商工会、消防署、農協・漁協、浜田港振興会	計14団体
アンケート	【地域住民】 関係市の住民へ郵送配布	約23,000部
	大田市：温泉津町	全戸配布 1,482部
	江津市	全戸配布 11,636部
	大田市：大田町、朝山町、波根町、久手町、長久町、静間町、五十猛町、仁摩町	無作為抽出 5,000部配布
	浜田市：旧浜田市	無作為抽出 5,000部配布
	【企業及び団体】 島根県内の関係企業・団体へ郵送配布	約5,700部
	各企業：製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉	5,513部
各団体：トラック協会（県内外）、商工会議所・商工会、消防署、農協・漁協、浜田港振興会	29団体	
【道路利用者等】 島根県内の道の駅・観光施設、自治体等に常設、WEB	5,000部	

4. 計画段階評価手続きの進め方③

4. ヒアリングの質問項目と活用方針

ヒアリング質問項目	ヒアリング結果の活用	備考
・比較ルート案（複数案）に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ルート選定にあたり、行政や業界が重要視する観点を把握する。 ・インターチェンジの設置位置（配置計画）において、行政や業界が重要視する観点を把握する。 ・行政または業界との認識の整合性の確認をする。 	第2回

5. アンケートの調査項目と活用方針

アンケートの質問項目	アンケート結果の活用	備考
現況の問題点・解決すべき課題	国道9号の現状について、回答者の認識を確認し、回答者の考える課題を把握する。	第1回 (実施済)
政策目標	道路を計画するにあたって、回答者の考える政策目標及びその優先度について把握する。	
道路整備の必要性	福光江津間における道路整備の必要性を把握する。	
比較ルート案（複数案）に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ルート選定にあたり、回答者が重要視する観点を把握する。 ・インターチェンジの設置位置(配置計画)において、回答者が重要視する観点を把握する。 	第2回
その他自由意見	その他、福光江津間に関する意見を幅広く聴取し、計画策定に反映する。	
回答者の属性、利用状況	回答結果の差異に対して各分類で整理し、分析する。	共通

5. 第2回アンケート案

5. 第2回アンケート案①

1. 調査概要

本調査の主旨、前回アンケートの概要、調査対象箇所について説明

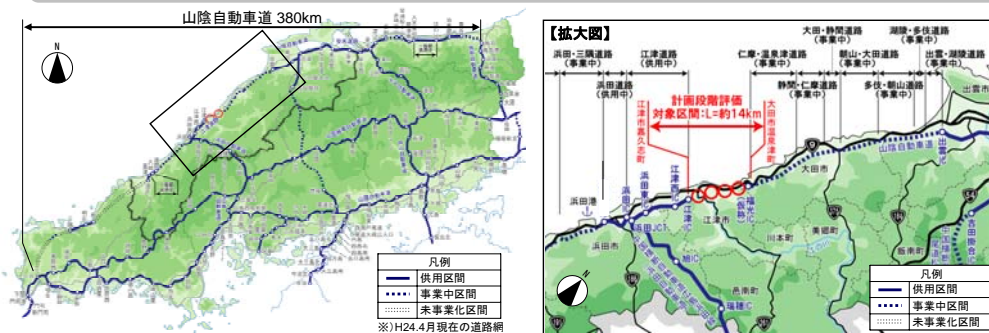
(案)

山陰自動車道(福光～江津)における 道路計画に関する第2回 アンケート調査

山陰自動車道は、鳥取県鳥取市～山口県美祢市までの延長約380kmの高規格幹線道路です。本調査は、山陰自動車道のうち、未事業化区間の福光～江津(延長約14km)の道路計画について、道路利用者の皆さまにご意見を伺う第2回目のアンケートです。

第1回アンケートでは、平成24年11月～12月にかけて「道路の課題」、「道路に求める機能・役割」や「道路整備の必要性」について、7,453件のご回答を頂きました。ご協力ありがとうございました。

今回の第2回アンケートでは、地域の課題を解消するためにふさわしい対策案となるよう、計画にあたって配慮すべき事項等についてお聞きします。前回に引き続き、本アンケート調査にご協力いただきますようお願いいたします。



2. 国道9号(福光～江津)の現状

対象路線の沿線における道路課題および地域の課題について説明

国道9号(福光～江津)の現状

道路ネットワークと交通状況

- ▶当区間は、高規格道路ネットワークにおいて松江市～益田市間で唯一事業化されていない区間です。
- ▶国道9号(大田市温泉津町～江津市嘉久志町間)の交通量は、約8,700～13,400台/日(大型車最大約2,700台/日)です。

災害危険箇所の状況

- ▶国道9号(大田市温泉津町～江津市嘉久志町間)には、土砂災害の危険箇所が多くあります。
- ▶昭和58年の豪雨では、洪水だけでなく多くの箇所で土砂災害が発生しました。

道路の線形

- ▶国道9号の大田市温泉津町～江津市嘉久志町間には、急な坂が6箇所、急なカーブが6箇所あります。
- ▶当区間は交通事故の致死率が、全国平均と比べ約7倍と高く、鳥根県平均と比べても約3倍と高いです。

洪水時浸水想定区域

- ▶江の川河口の東側周辺では、国道9号において、洪水時浸水が想定される区間があり、通行止めになる危険があります。



国土交通省 中国地方整備局 浜田河川国道事務所 島根県 浜田市 江津市 大田市

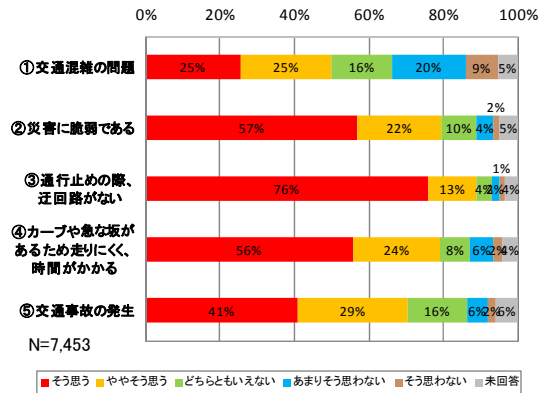
5. 第2回アンケート案②

3. 第1回アンケート集計結果

第1回のアンケートの質問事項である「道路の課題」、「道路整備の必要性」、「道路に求められる機能・役割」について集計結果を説明

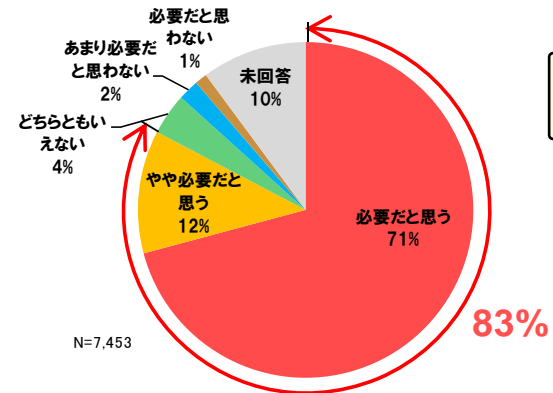
●アンケートには、地域の住民や道路を利用される方などから、7,453件の回答をいただきました。

1. 国道9号(福光～江津間)の課題について



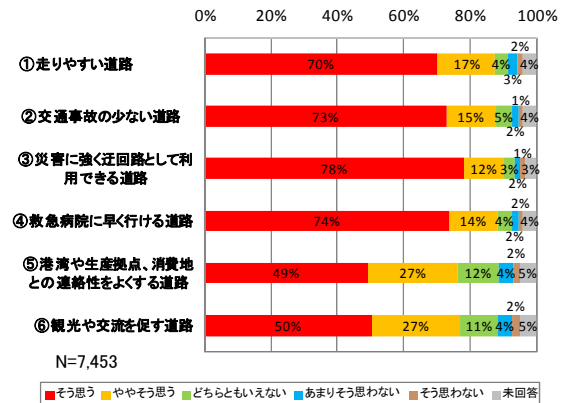
●「③通行止めの際、迂回路がない」とのご意見が最も多く、次いで「②災害に脆弱である」、「④カーブや急な坂があるため走りにくく、時間がかかる」との意見が多く挙げられています。

2. 課題を解消するための道路整備の必要性について



●必要性を認識されている方が83%ありました。

3. 地域の道路に求められる機能について



●「③災害に強く迂回路として利用できる道路」とのご意見が最も多く、次いで「①走りやすい道路」、「②交通事故の少ない道路」、「④救急病院に早く行ける道路」との意見が多く挙げられており、『災害時の迂回路』としての機能や『速達性』、『安全性』を求められています。

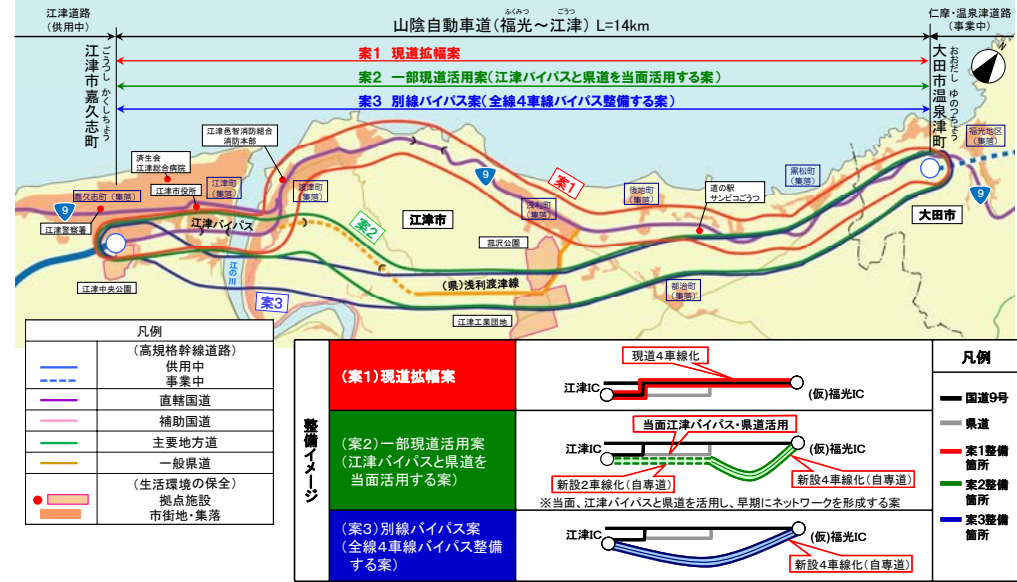
5. 第2回アンケート案③

4. 対策案

各対策案の概要と各評価項目における整備効果を図と比較表を用いて説明

ルート帯とは・・・道路が通過する概ねの位置(概ね幅500m程度)を示したものです。

各ルート帯案の比較



各ルート帯案の比較表

評価の項目	(案1)現道拡幅案	(案2)一部現道活用案 (江津バイパス・県道を当面活用する案)	(案3)別線バイパス案 (全線4車線バイパス整備する案)
ルートの主旨	・現国道9号を拡幅し、活用する案 60km/hで走行できる一般道	・計画区間に並行する江津バイパスと県道を当面活用することにより、早期にネットワークを形成する案 ・江津バイパスの用地を活用する案 80km/hで走行できる自動車専用道路	・全線4車線バイパス整備する案
政策目標に対する評価	災害時にも機能するネットワーク(迂回路の確保)	現道拡幅区間で通行止めが発生した場合、大きな迂回が必要となる	災害や事故により国道9号が通行止めとなった場合、代替路として機能する
	救急医療機関への速達性、確実性の確保	第3次医療機関への搬送時間:約4分短縮 (江津市嘉久志町から鳥根県立中央病院への搬送)	第3次医療機関への搬送時間:約9分短縮 (江津市嘉久志町から鳥根県立中央病院への搬送)
	国際競争力の強化、産業の活性化	浜田港へのアクセス時間:約5分短縮 ※福光IC以東～浜田港	浜田港へのアクセス時間:約10分短縮 ※福光IC以東～浜田港
	観光の振興・交流の促進	観光地へのアクセス時間(観光の振興):約5分短縮 ※江津IC～石見銀山 都市圏へのアクセス時間(交流の促進):約5分短縮 ※江津IC～松江都市圏	観光地へのアクセス時間(観光の振興):約10分短縮 ※江津IC～石見銀山 都市圏へのアクセス時間(交流の促進):約10分短縮 ※江津IC～松江都市圏
安全性の向上	交通事故件数:2件/年の削減	交通事故件数:23件/年の削減	
アクセス性(利便性)	・現国道9号へのアクセス性は良い ・江津工業団地へのアクセス性は悪い ・菟沢公園等へのアクセス性は悪い	・現国道9号へのアクセス性は悪い ・江津工業団地へのアクセス性は良い ・菟沢公園等へのアクセス性は良い	
自然・生活環境への配慮	・現国道9号を改良するため自然の改変は少ないが、生活環境への影響が大きい ・土砂災害危険箇所があり、対策が必要となる ・移転家屋が最も多い	・別線整備であるため生活環境への影響は少なく、道路用地活用により、地形改変による自然への影響が少ない。 ・移転家屋が案3と比較して多い	・別線整備であるため生活環境への影響は少ないが、地形改変による自然への影響は大きい ・移転家屋が最も少ない
区間距離	約15km	約14km	約14km
事業費	約400～450億円	約500～550億円	約800～850億円

5. 第2回アンケート案④

5. 質問事項

「新たな道路整備」、「対策案(ルート帯案)」、「連絡箇所」について確認

質問1 新たな道路整備について

質問1-1 第1回アンケートの結果を整理すると、『課題を解決する上で、道路整備が必要』との意見が多く、当該地域の道路に求められる機能としては「災害時の迂回路」や「速達性」、「安全性」を求める意見が多い結果となりました。この方向性について、妥当だと思いますか。

- ①妥当だと思う → 質問2、質問3、質問4へ
- ②どちらとも言えない → 質問1-2、質問2、質問3、質問4へ
- ③妥当だと思わない → 質問1-2、質問2、質問3、質問4へ

質問1-2 『どちらともいえない』、『妥当だと思わない』の理由を教えてください。

質問2 対策案(ルート帯案)について

質問2-1 ルート帯を選定するにあたり、どのような事項に配慮すべきだと思いますか？
下記の①～⑥に挙げる6つの事項すべてについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。

- ①災害の危険性が低くなる／国道9号が通行止めの際に迂回路となる
- ②スムーズに移動できる(所要時間が短縮される)
- ③交通事故の危険が少ない
- ④自然環境への影響が少ない
- ⑤走りやすいネットワークが早くつながる
- ⑥整備費用を安くし、早く開通できる

質問2-2 質問2-1に示した6つの事項以外で、あなたが配慮すべきだと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

質問3 連絡箇所について

質問3-1 何処との連絡性に配慮すべきだと思いますか？
下記の①～④に挙げる4つの事項すべてについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。

- ①市街地(市役所、病院等)への連絡性が良い
- ②主要な幹線道路との連絡性が良い
- ③工業団地など産業集積地への連絡性が良い
- ④道の駅や広域公園など交流施設への連絡性が良い

質問3-2 質問3-1に示した4つの事項以外で、あなたが配慮すべきだと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

質問4 今後の道路整備等について

質問4 福光～江津間の現在の国道の状況や、今後の道路整備等について、ご意見があれば、ご自由にお書きください。

5. 第2回アンケート案⑤

6. アンケート返信用はがき

「5. 質問事項」と合わせて回答者の属性を確認

■回答方法

• 回答は、返信用はがきに記入し、切り取って郵便ポストに投函。

■締め切り

• 平成25年〇月〇日(〇)まで。

(表面)

郵便はがき

料金受取人払郵便

〇〇郵便局 承認

0000

差出有効期間 平成25年〇月〇日 (切手不要)

0000-000000

〇〇〇県〇〇〇市

国土交通省 中国地方整備局
浜田河川国道事務所
〇〇部 〇〇課

〇〇〇 行

◆あなた自身のことについて【記入または該当する番号に○をつけてください】

住所 〒 島根県 市・郡 町

性別 ① 男性 ② 女性 年齢 歳代

◆国道9号(福光～江津間)の利用状況について【該当する番号に○をつけてください】

Q. 現在の国道9号(福光～江津間)の利用頻度を教えてください。

① 毎日 ② 週2～3回程度 ③ 月2～3回程度
→①②③を選ばれた方は《下段》の質問へ

④ ほとんど利用しない ⑤ 利用したことがない
→④⑤を選ばれた方は《裏面》の質問へ

Q. 国道9号(福光～江津間)の主な利用目的を教えてください。

① 通勤 ② 通学 ③ 家事・買い物
④ 仕事 ⑤ 観光・レジャー ⑥ その他()

Q. また、その行き先を教えてください。

① 同じ市町内 ② 浜田市 ③ 江津市 ④ 大田市
⑤ 松江市 ⑥ 出雲市 ⑦ その他()

※本アンケートでお答えいただいた意見および個人情報等は、他の目的で使用したり、第三者に使用させたりすることは一切いたしません

回答者属性を確認

(裏面)

質問1-1 第1回アンケートの結果について妥当だと思いますか。
【該当する番号に○をつけてください】

① 妥当だと思う ② どちらとも言えない ③ 妥当だと思わない

質問1-2 『どちらともいえない』、『妥当だと思わない』の理由を教えてください。
【自由回答】

質問2-1 ルート帯を選定するにあたり、どのような事項に配慮すべきだと思いますか？下記に示す6つの事項すべてについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。【該当する箇所○をつけてください】

ルート帯を選定するにあたり配慮すべき事項	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない
① 災害の危険性が低くなる/国道9号が通行止めの際に迂回路となる					
② スムーズに移動できる(所要時間が短縮される)					
③ 交通事故の危険が少ない					
④ 自然環境への影響が少ない					
⑤ 走りやすいネットワークが早くつながる					
⑥ 整備費用を安くし、早く開通できる					

質問2-2 質問2-1に示した6つの事項以外で、あなたが配慮すべきだと思うことがあれば、ご自由にお書きください。【自由回答】

質問3-1 何処との連絡性に配慮すべきだと思いますか？下記に示す4つの事項すべてについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。【該当する箇所○をつけてください】

連絡性に配慮すべき事項	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない
① 市街地(市役所、病院等)への連絡性が良い					
② 主要な幹線道路との連絡性が良い					
③ 工業団地など産業集積地への連絡性が良い					
④ 道の駅や広域公園など交流施設への連絡性が良い					

質問3-2 質問3-1に示した4つの事項以外で、あなたが配慮すべきだと思うことがあれば、ご自由にお書きください。【自由回答】

質問4 福光～江津間の現在の国道の状況や、今後の道路整備等について、ご意見があれば、ご自由にお書きください。【自由回答】